

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

社名： _____
 (_____)
 担当者名： _____
 電話番号： _____

登録番号	_____
導入車両車名	_____
導入車両型式	_____

(HV(ハイブリッド自動車))※プラグインハイブリッド自動車を除く

*社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH28年度の使用状況		導入車両のH29年度の使用状況		備考
使用開始日					新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①		km		km	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください
導入車両の各年度の燃料使用量(リットル)②		リットル		リットル	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください
導入車両の年間平均燃費③	#DIV/0!	km/ リットル	#DIV/0!	km/ リットル	①÷②により導入車両の平均燃費が計算され表示されます。
標準車両に適用される燃費基準値④		km/ リットル	0.00	km/ リットル	導入車両の型式に相当する標準車両に適用される燃費基準値を「事前登録された補助対象車両等の情報」より選んで記入してください。
標準車両におけるCO2排出係数⑤		kg- CO2/ リットル	0.00	kg- CO2/ リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両におけるCO2排出係数⑥		kg- CO2/ リットル	0.00	kg- CO2/ リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
標準車両の年間CO2排出量⑦	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	①÷④×⑤÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑧	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	①÷③×⑥÷1,000
CO2削減量	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	標準車両の年間CO2排出量⑦から導入車両の年間CO2排出量⑧を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。
 注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。
 注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

登録番号	
導入車両車名	
導入車両型式	

社名： ()
 担当者名：
 電話番号：

(PHV(プラグインハイブリッド自動車))※充電容量を把握していない場合 *社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH28年度の使用状況		導入車両のH29年度の使用状況		備考
使用開始日					新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①		km		km	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。
導入車両の各年度の燃料使用量(ℓ)②		ℓ		ℓ	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。
導入車両の各年度の充電回数(回)③		回		回	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの充電回数(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの充電回数(注2)を記入してください。
導入車両のハイブリッド燃料消費率④		km/ℓ	0.0	km/ℓ	導入車両について公表されている燃料消費率(km/ℓ)を記入してください。
導入車両のプラグインレンジ(充電電力使用時走行距離)⑤		km	0.0	km	導入車両について公表されている充電電力使用時走行距離(km)を記入してください。
導入車両の電力消費率⑥		km/kWh	0.00	km/kWh	導入車両について公表されている電力消費率(km/kWh)を記入してください。
標準車両に適用される燃費基準値⑦		km/ℓ	0.00	km/ℓ	導入車両の型式に相当する標準車両に適用される燃費基準値を「事前登録された補助対象車両等の情報」より選んで記入してください。
標準車両におけるCO2排出係数⑧		kg-CO2/ℓ	0.00	kg-CO2/ℓ	排出係数とは、燃料1ℓから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両におけるCO2排出係数⑨		kg-CO2/ℓ	0.00	kg-CO2/ℓ	排出係数とは、燃料1ℓから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
電気のCO2排出係数⑩		t-CO2/kWh	0.00	t-CO2/kWh	環境省の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度のホームページ」(ホーム→算定・報告方法→排出係数一覧→電気事業者別排出係数関連ページ)において公表されている電気事業者別の排出係数のうち、充電に最もよく使う電気事業者の最新の実排出係数を記入してください。 http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc
標準車両の年間CO2排出量⑪	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	①÷⑦×⑧÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑫	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	③×⑤÷⑥×⑩+②×⑨÷1,000
CO2削減量	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	標準車両の年間CO2排出量⑪から導入車両の年間CO2排出量⑫を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。
 注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。
 注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。

二酸化炭素(CO2)排出量計算表(その1)

別添

社名： ()
 担当者名：
 電話番号：

登録番号
 導入車両車名
 導入車両型式

(PHV(プラグインハイブリッド自動車)) ※充電容量を把握している場合 * 社名の()はリース貸渡し先を記載

	導入車両のH28年度の使用状況		導入車両のH29年度の使用状況		備考
使用開始日					新規登録日付もしくはそれ以降に運送事業での利用を開始した日(いずれか遅い方)の日付を記入してください。
導入車両の各年度の走行距離(km)①		km		km	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの走行キロ(注2)を記入してください
導入車両の各年度の燃料使用量(リットル)②		リットル		リットル	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの燃料使用量(注2)を記入してください
導入車両の各年度の充電容量(kWh)③		kWh		kWh	28年度は補助対象車両の登録日から29年3月31日までの充電容量(注2)を記入してください。 29年度は29年4月1日から平成30年3月31日までの充電容量(注2)を記入してください
標準車両に適用される燃費基準値④		km/リットル	0.00	km/リットル	導入車両の型式に相当する標準車両に適用される燃費基準値を「事前登録された補助対象車両等の情報」より選んで記入してください。
標準車両におけるCO2排出係数⑤		kg-CO2/リットル	0.00	kg-CO2/リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
導入車両におけるCO2排出係数⑥		kg-CO2/リットル	0.00	kg-CO2/リットル	排出係数とは、燃料1リットルから何kgのCO2が排出されるかを示す係数です。 標準車両の使用する燃料がガソリンであれば2.32、軽油であれば2.58を記入してください。
電気のCO2排出係数⑦		t-CO2/kWh	0.00	t-CO2/kWh	環境省の「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度のホームページ」(ホーム→算定・報告方法→排出係数一覧→電気事業者別排出係数関連ページ)において公表されている電気事業者別の排出係数のうち、充電に最もよく使う電気事業者の最新の排出係数を記入してください。 http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc
標準車両の年間CO2排出量⑧	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	①÷④×⑤÷1,000
導入車両の年間CO2排出量⑨	0.00	tCO2	0.00	tCO2	②×⑥÷1,000+③×⑦
CO2削減量	#DIV/0!	tCO2	#DIV/0!	tCO2	標準車両の年間CO2排出量⑧から導入車両の年間CO2排出量⑨を引くことで、年間(年度途中で導入の場合は、そこから年度末までの間)のCO2削減量を計算することができます。

注1. 上記様式は、当該年度末及びその後の1年間について必ず作成し、そのコピーを交付規程様式第15事業報告書と共に提出してください。
 注2. 燃費改善効果及び二酸化炭素削減効果を把握することが、当該補助金の目的であり、事業報告書を提出しない場合は、補助金の返還もあり得ます。
 注3. 補助対象車両が複数の場合は、本表を台数分提出してください。